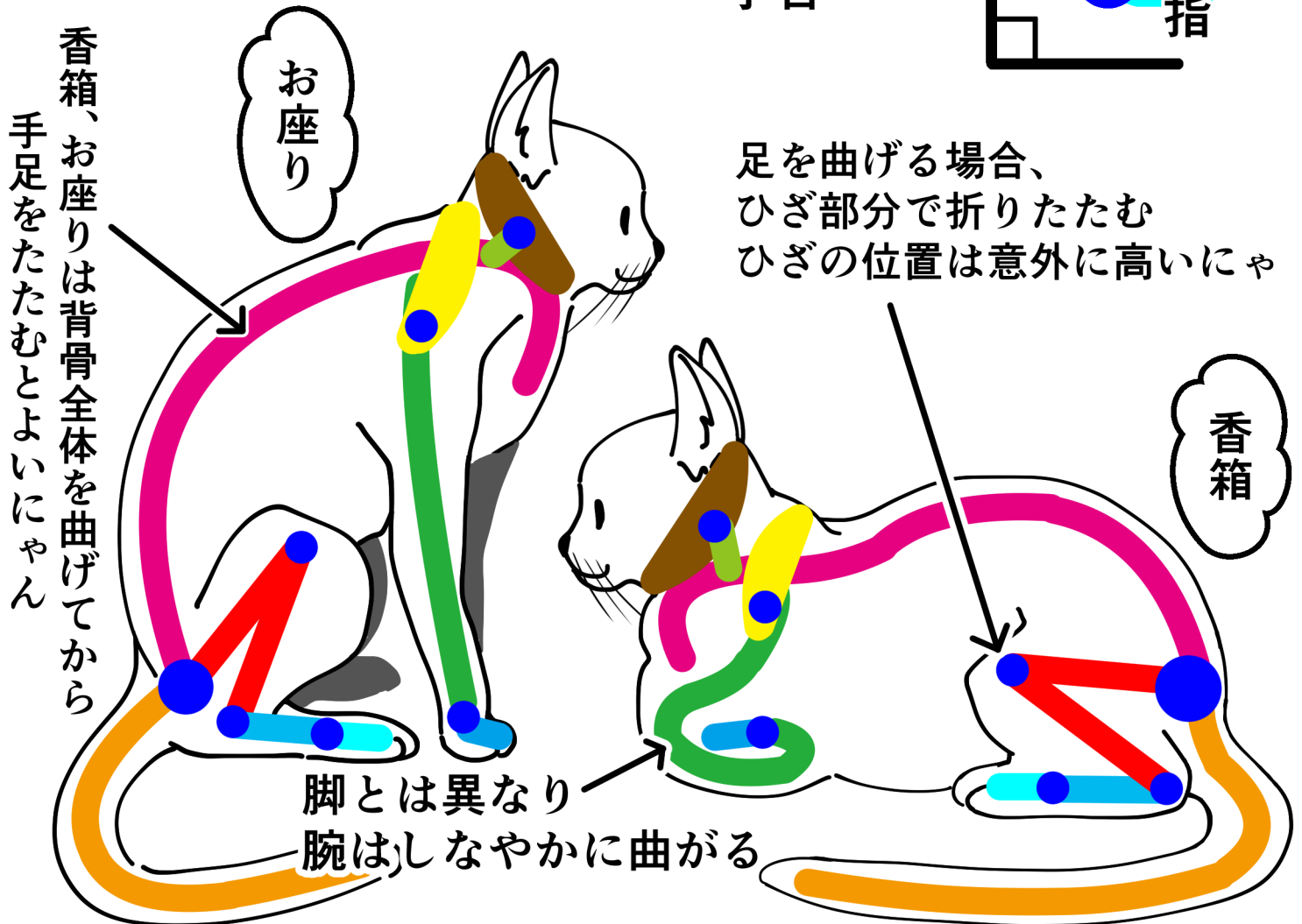
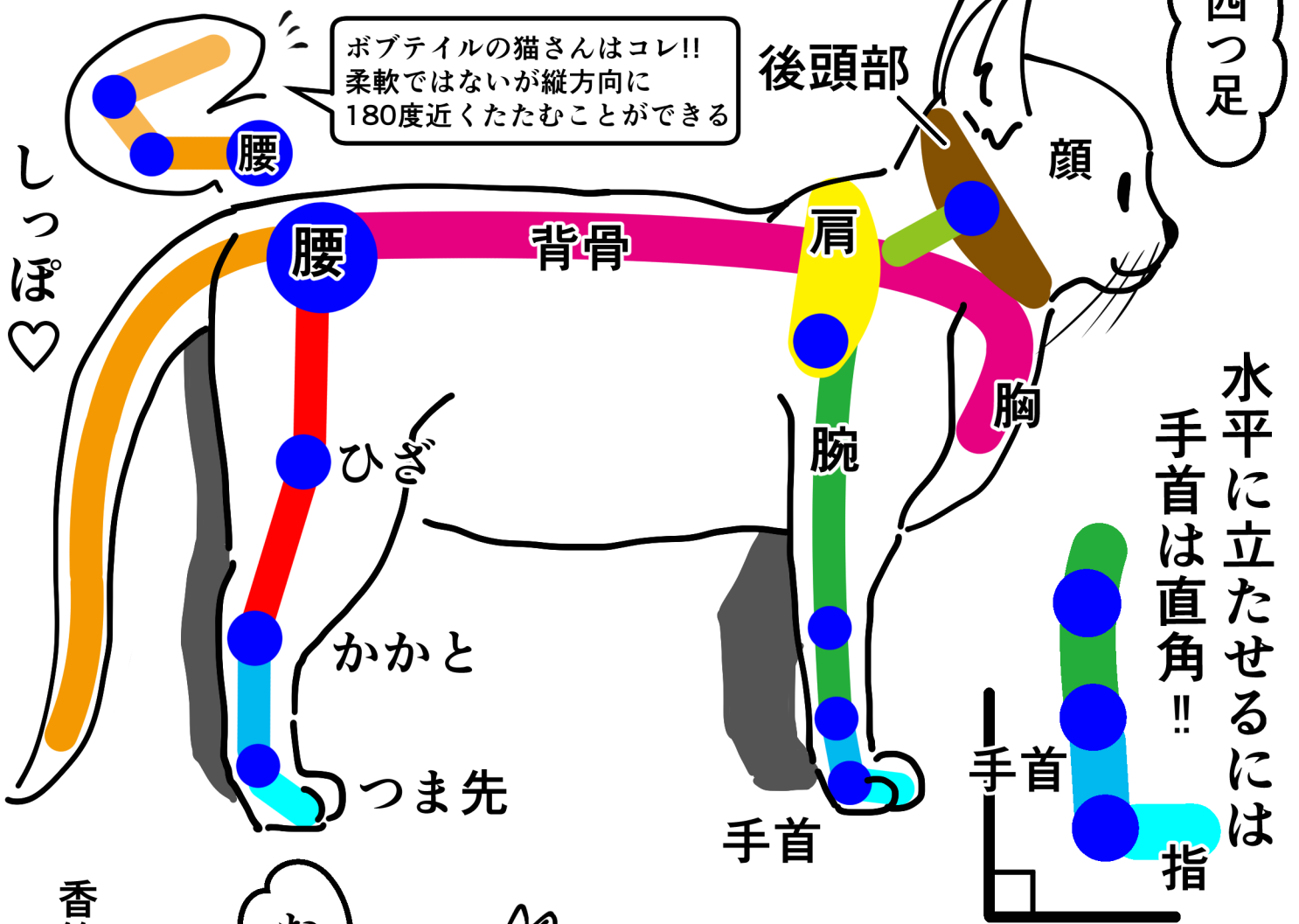


自在猫

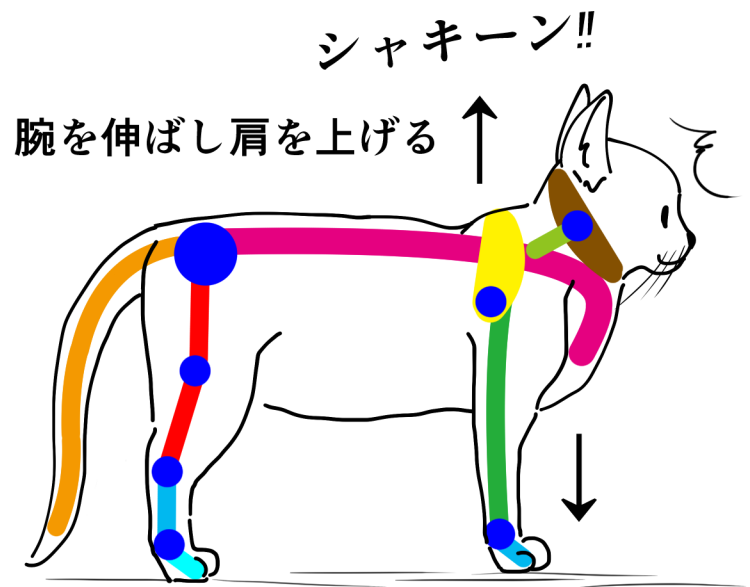
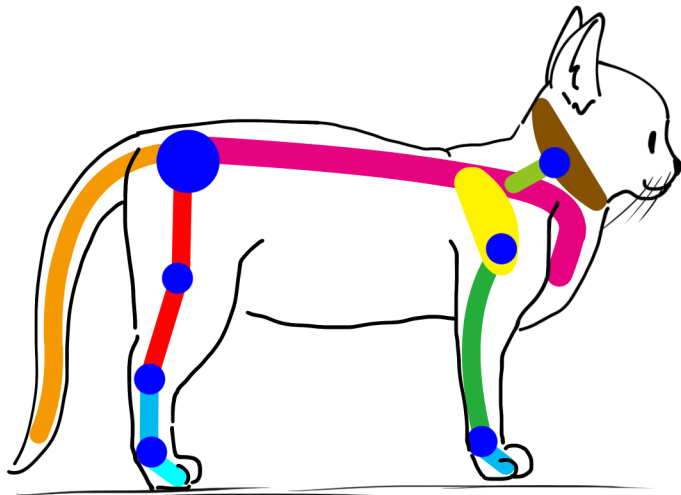
D



★自在猫の秘密① 骨格

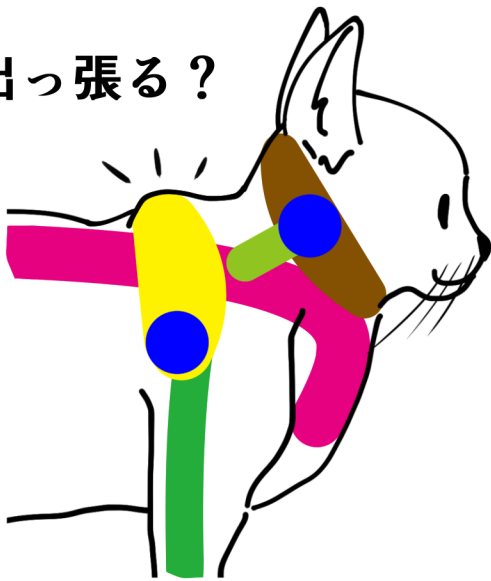


姿勢が悪い時は……



四つ足で立たせる場合は横にした状態で姿勢を調整してから立たせるとスムーズにできるにゃ

肩が出っ張る?



肩を前に倒す

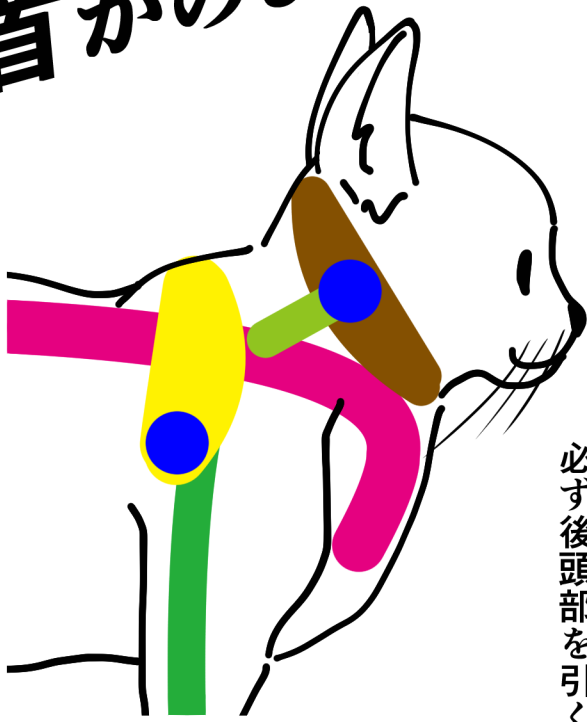


※可動域確保のため
両脇間はへこみがちです……

骨格を動かして丸める

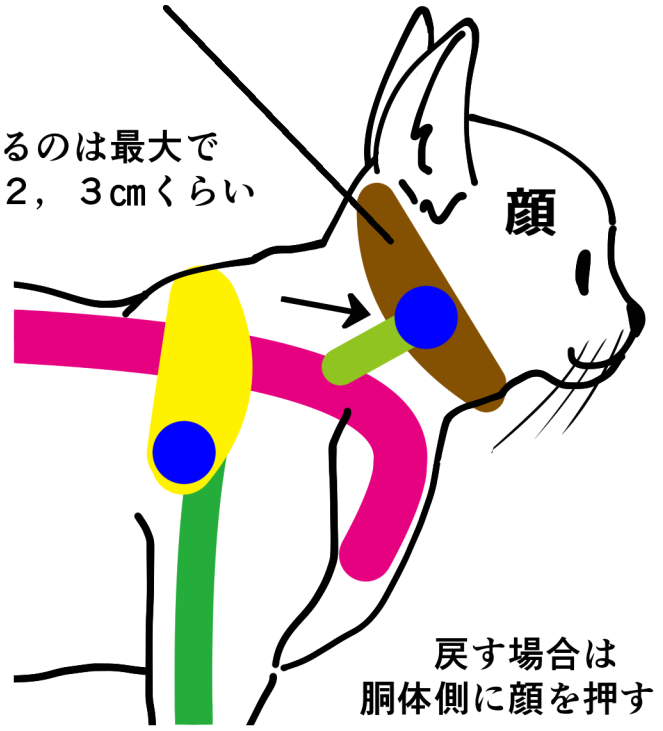
首がのびる

お腕状の後頭部を持って前に引く



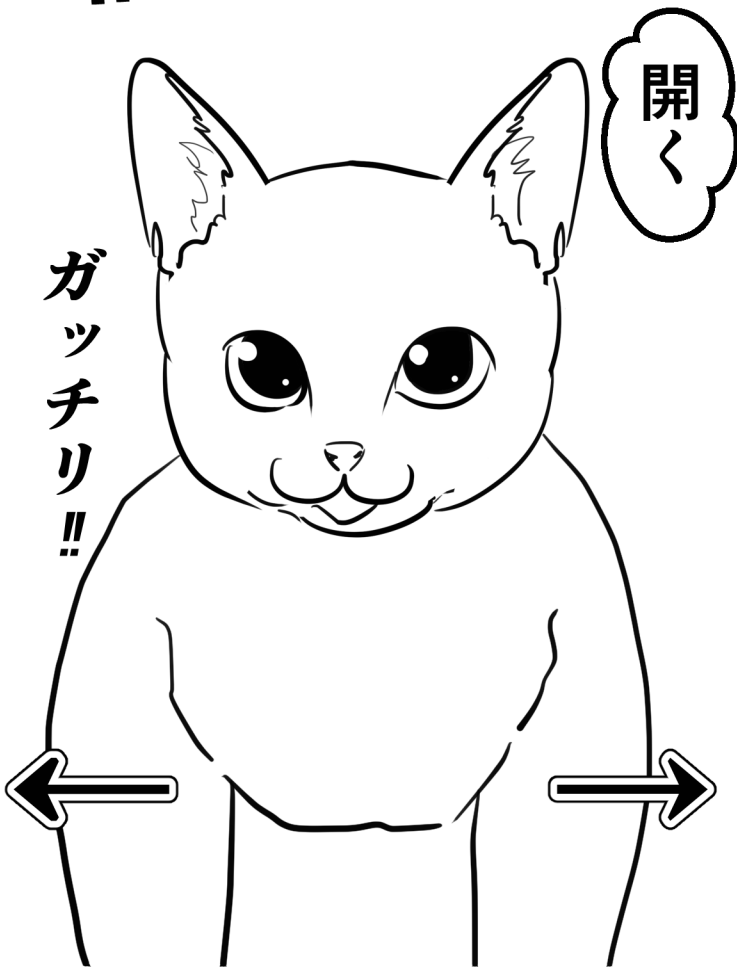
伸びるのは最大で
2, 3cmくらい

※顔を強く引くと
接合部に負荷がかかるので
必ず後頭部を引くにゃ

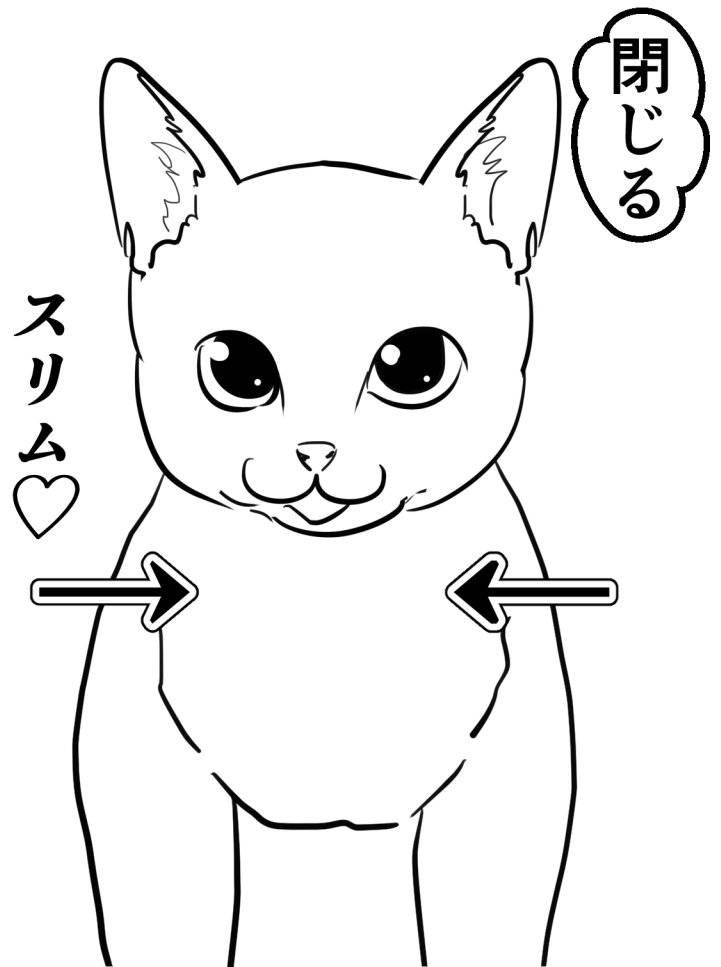


戻す場合は
胴体側に顔を押し

幅が伸びたり 縮んだり



両腕をつかんで肩を開く



肩を両側から押して閉じる

※腰も同様に開くにゃ

顔の向きの調整

頭部は前面の「顔部分」と後方の「後頭部」に分かれており、向きを変えるにはお椀状の後頭部をつかんで上下左右に動かすにゃ

顔を真横に向けたい場合は……



後頭部付け根と上半身全体を
向けたい方向へ曲げるにゃ



顔だけを横に向けても首はしなやかで
斜めまでしか向かないため

顔を上に向けたい場合は……



後頭部付け根と
上半身全体を上曲げるにゃ



同様に顔を上に向け場合も

※顔の向き固定は必ず「後頭部」を持って動かしてください
顔部分に強い力がかかると接合部が破損する可能性があります

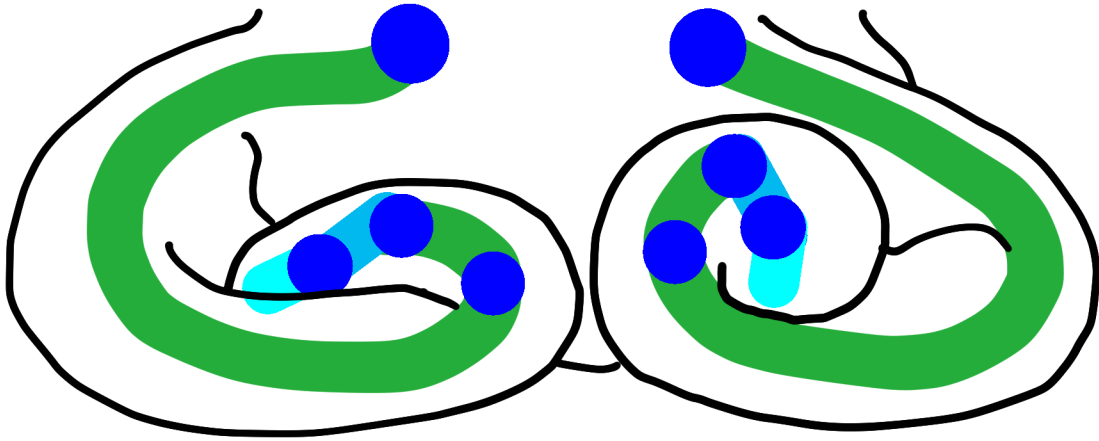
腕先・脚先の可動

腕から手首までは

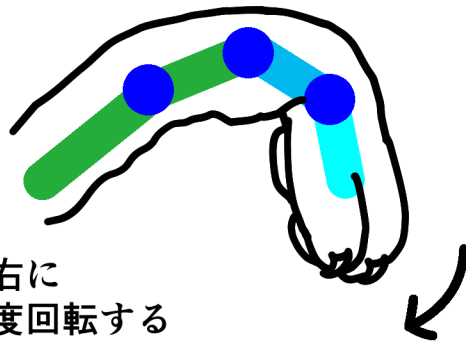
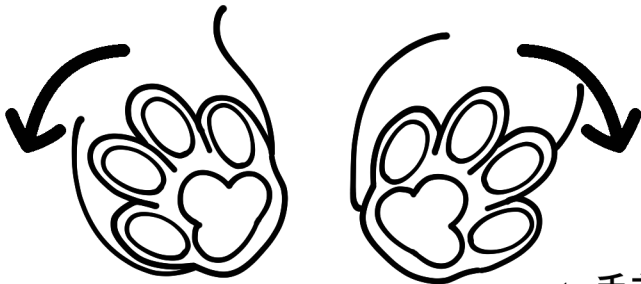
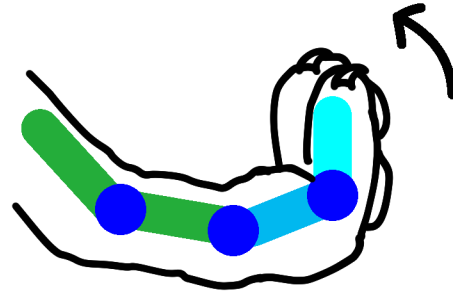
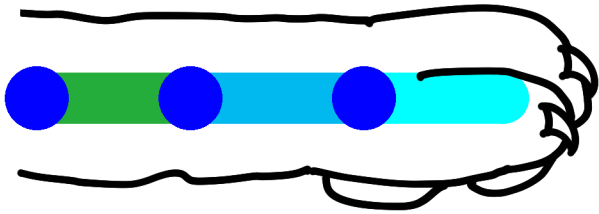
柔軟に曲がるにゃ

(鋭角には曲がらない)

ぐんぐんわり



・手首の可動域



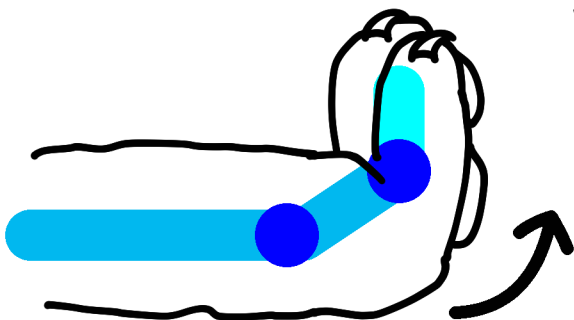
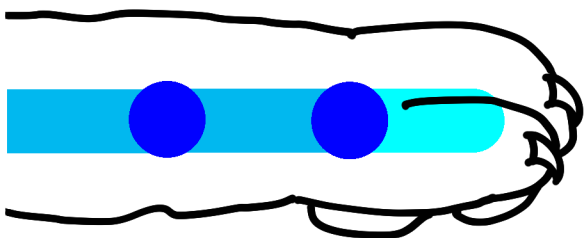
←手首は左右に
30度程度回転する

手首は多重関節で

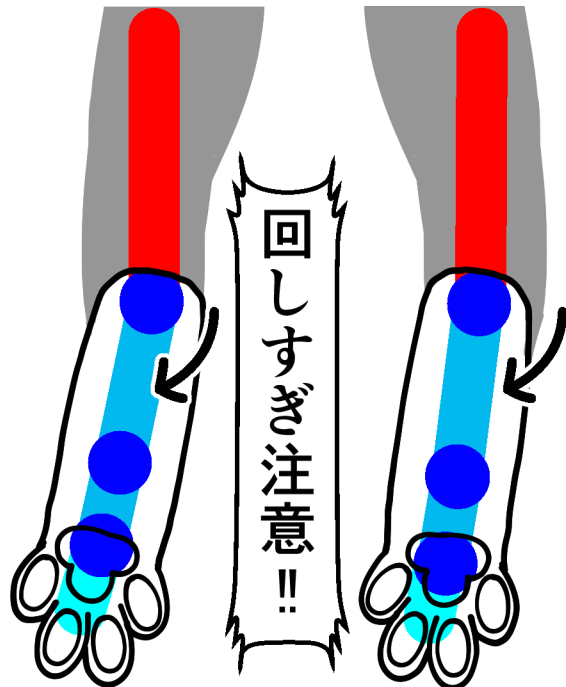
上下90度以上、鋭角に可動

(招き猫のポーズ可能)

・足首の可動域



つま先は上に90度近く曲がり
下にはほぼ曲がらない



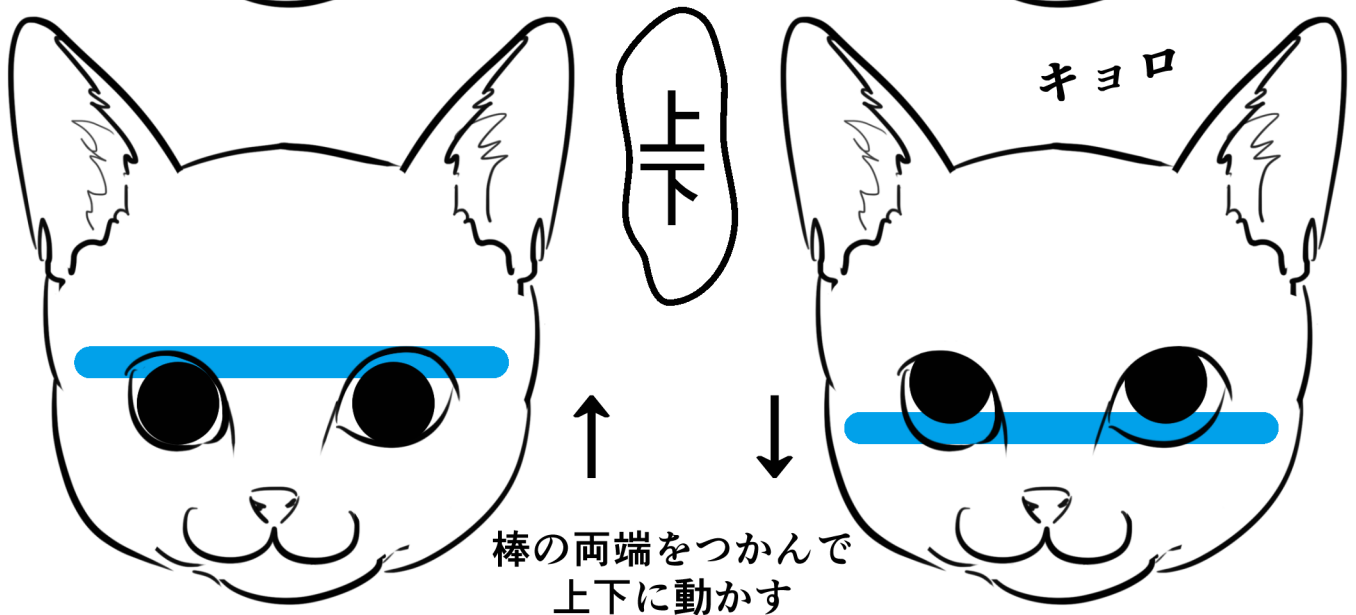
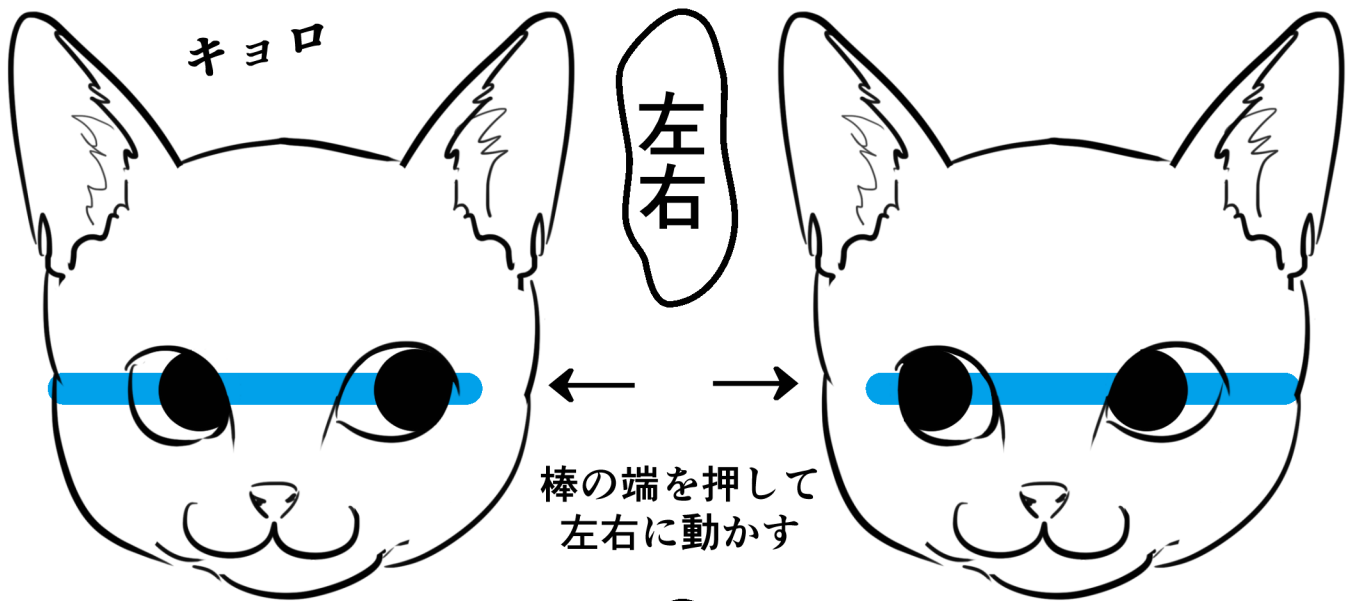
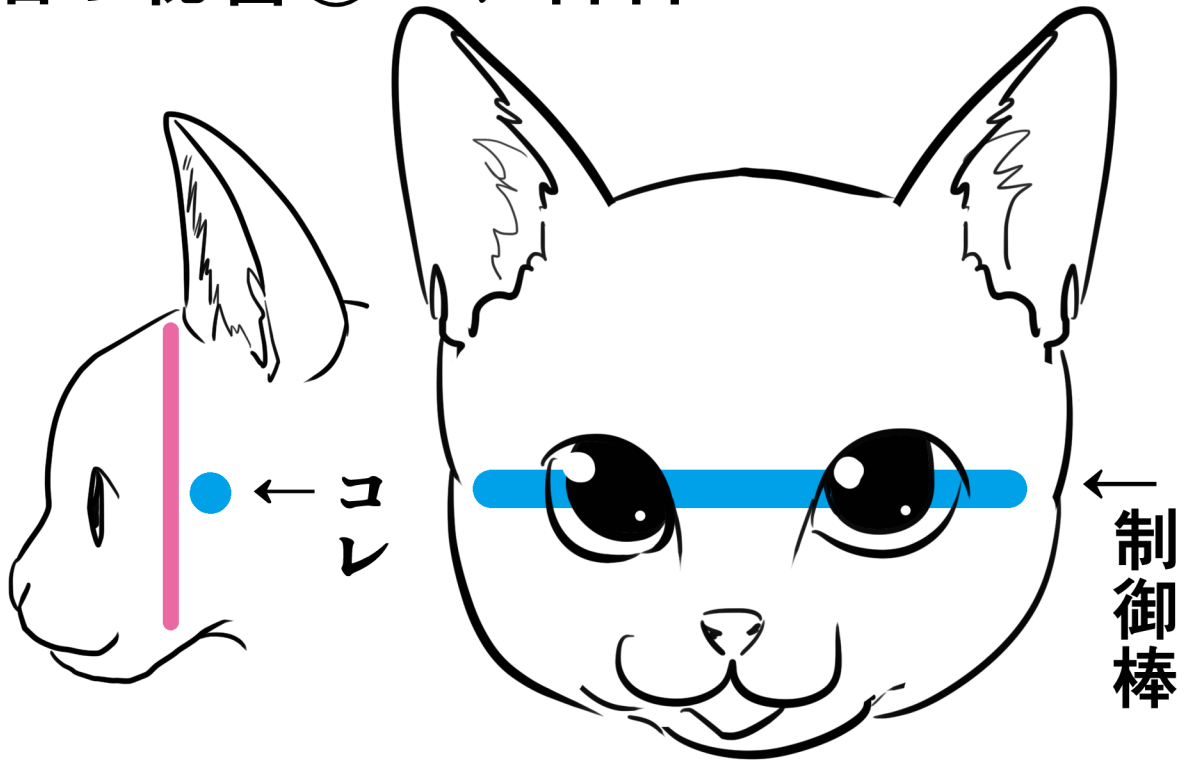
かかとから先が回転する

※回しすぎると脚が正反対に

裏返ってしまうので注意が必要

★自在猫の秘密② お目目

目の両脇後ろの内側に出っ張りがあるにや
それを上下左右、斜めに動かすと
視線が変わるにや



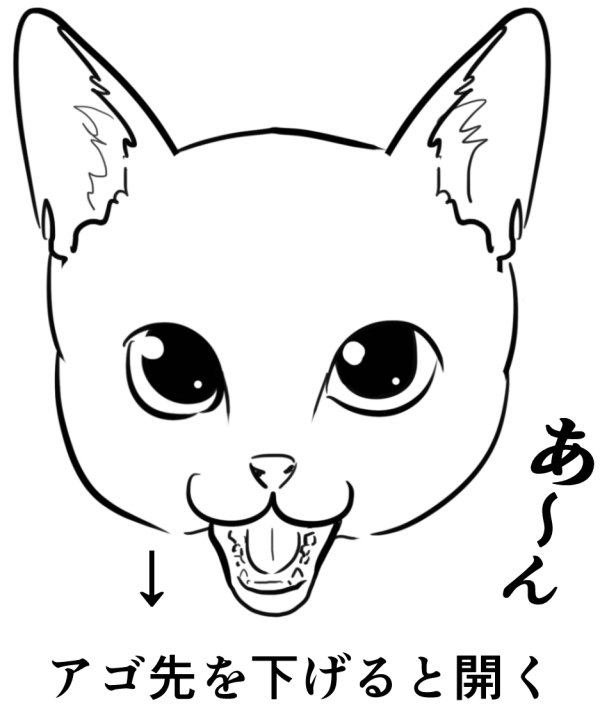
※目がでっぺる場合は指で押し、へこむ場合は制御棒を前に押し調整

★自在猫の秘密③ お口

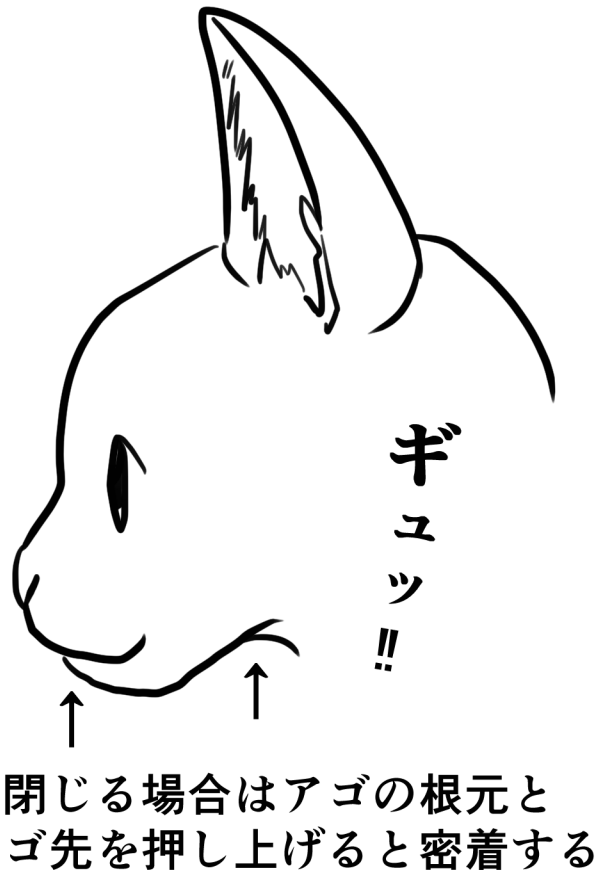
本物の猫ちゃんほどではないものの
お口を開き、舌を出し入れすることができるにゃ



舌を戻す場合は、
根元を奥へ押し込むにゃ
(先端を押してもフニャフニャして
収納できない……)



舌が前すぎると
挟まって閉じないにゃ



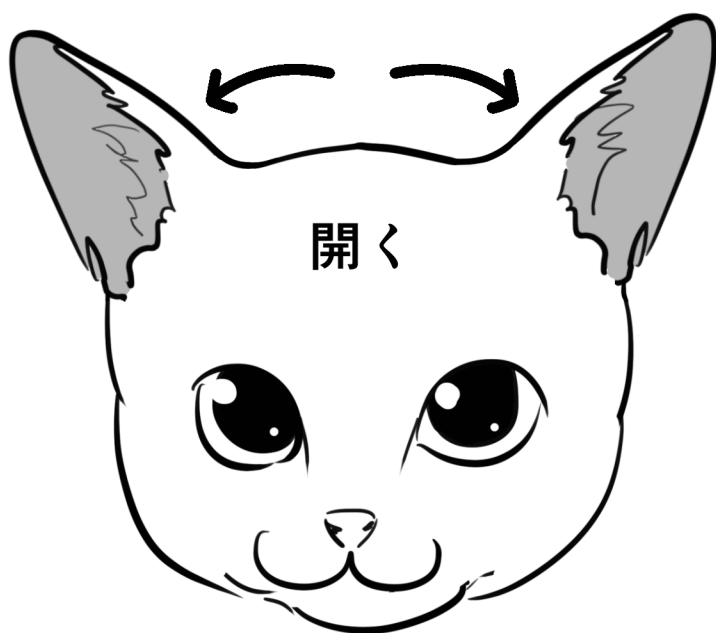
※アゴの可動は針金のため、過度に開け閉めすると
疲労骨折してしまうため注意が必要(最大の開閉で約50回が命数!!)

★自在猫の秘密④ お耳



耳はボールジョイントを使用しているので、
前後左右水平方向に動くにゃ
でも限界以上に動かそうとすると
ボールジョイントが外れてしまうので
注意が必要にゃ

※耳を動かす場合は、
耳の袋が破れないように
耳の先端と土台部分を動かしてにゃ



※※※※ 猫人形注意報 ※※※※

- ※あくまで人形であるため、実物のネコと完全に同じポーズ、同じ質感ではありません。
- ※ファーが伸びないため現状では完全に真上を向くことができません。
- ※可動域を確保するため、ファーの一部にへこんだり、たるんだりしている部分があります。
- ※ファーの性質上、太陽光と屋内照明では色味が異なって見えます。
- ※手作りのため、人形毎にそれぞれ個体差があります。
- ※内部構造が複雑なため、お好みのポーズにするには多少の慣れが必要です。
- ※部品の強度にムラがあるため、動かすすぎると破損しやすくなります。
基本的には飾りとしてお使いいただくことをおすすめします。
- ※重量があるため、高い場所への展示は落下の危険性があります。
- ※尖った部品は露出していませんが、ガラスや金属部品を使用しているため、
小さなお子様や動物との接触は避けてください。
- ※ソフトファーという種類のエコファーを使用しており、
ファーが汚れやすく絡みやすいため、クシでお手入れしながら使用してください。
- ※ファーは汚れが付きやすいため屋内のホコリのない場所に飾ってください。
- ※シリコン部分は静電気です。ホコリが付きやすいです。(耳、鼻、肉球)
ホコリはセロハンテープで簡単に除去できます。(ファーが貼り付かないよう注意)
- ※ソフトファーは脱毛し服に着きやすいので洗濯困難な服では
さわらないようにしてください。
- ※いろいろなポーズが可能です。可動域を超えて動かした場合、
故障、破損の原因になります。
- ※関節にはゴムを使用しているため、連続して高速で動かした場合、
熱で関節部分が弱くなる可能性があります。(特に夏季)
- ※実物のネコさん同様、水が苦手です。
(内部骨格のサビ、ファーの汚れ・カビ、接着材の分解が起こります)
- ※実物のネコさん同様、暑さも苦手です。高温多湿、長時間の直射日光は避けてください。
関節部が劣化する恐れがあります。
- ※肉球が地面に接触したままの場合、材質によっては肉球と癒着してしまう場合があります。
長時間飾る、保管する場合は寝かせてください。
- ※耳やヒゲは長時間変形したままだと、クセがついて変形したままになることがあります。
保管の際はスペースを確保してください。

主な素材：

ポリエステルフェイクファー
スチール(ネジ、骨格) 合成ゴム(関節)
フェルト布 シリコン(肉球、耳、鼻など)
ガラス(目) 樹脂粘土(口内部)
ポリプロピレン(ヒゲ)
ポリスチレン(ボールジョイント)
ビニールチューブ
など